

10月新着図書

おひとり2冊まで、2週間（新着本は1冊）借りられます。



日野南コミュニティーハウス

青瓜不動 三島屋変調百物語九之続

著者名：宮部みゆき

宮部みゆきライフワーク三島屋変調百物語シリーズの最新刊。江戸の神田を舞台に、切なさや人情たっぷりの表題作「青瓜不動」など、どれも読みごたえ十分の4篇からなる。宮部作品の時代ものの魅了はどっぷりつかれる臨場感。あたかも作者自身がタイムトリップして書いているようで、瞬時に読者を引きずり込んでいってしまう。加えて随所に挿しこまれた墨絵が一層に異世界へと誘う。百物語とうたっているからまだまだ楽しみを続けてくれるだろう。

成瀬は天下を取りにいく

著者名：宮島未奈

「島崎、わたしはこの夏を西武に捧げようと思う」中2の夏休み、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。新潮社主催新人賞で史上初の三冠に輝いた、圧巻のデビュー作！

コメンテーター

著者名：奥田英朗

トンデモ精神科医・伊良部、復活！ワイドショーに出演することになった伊良部とマユミ。放送事故寸前のコメントを連発するが、それは暴言か、はたまた金言か！？



くもをさがす

著者名：西加奈子

カナダで、がんになった。あなたに、これを読んでほしいと思った。西加奈子、初のノンフィクション

私たちの世代は

著者名：瀬尾まいこ

小学三年生になる頃、今までにない感染症が流行し二人の少女、冴と心晴は不自由を余儀なくされる。母子家庭の冴は中学生になってイジメに遭い、心晴は休校明けに登校するきっかけを失って以来、引きこもりになってしまう。それでも周囲の人々の助けもあり、やがて就職の季節を迎えた。



そもそもこの世を生きるとは 新装版

著者名：佐藤愛子

苦闘の末に手に入れた境地。愛子センセイの元気がわき出る珠玉の箴言集。



老いの地平線 91歳自信をもってボケてます

著者名：樋口恵子

「老いの地平線」には何がある？ 5月に91歳を迎えた評論家・樋口恵子さん。「老いても老いても、果てがない。何歳になっても老いは続く」とは樋口さんの談。2人の夫を見送り、80代で家を建て替え、乳がんの手術をし、今なおヒット本を連発。猫と暮らす樋口さんの普段の暮らしから「脳によい8の習慣」「91歳が安心して住める家実例」「100歳へ向けて人生アルバム」を巻頭グラビアで紹介。この本を読めば「老いの地平線」＝最晩年まで脳を育て続け、ボケすぎずに社会とつながり、大夢を画（えが）いて笑って生きられる！

